

引抜加工作業 実技試験 初級

hikinuki kako sagyo jitsugi shiken shokyu
ひきぬき かこう さぎょう じつぎ しけん しょきゅう

chui

1. ちゅうい

shiken wa shiken kantokusha no shiji ni sitagatte sagyo o okonai nasai
(1) しけん は、しけん かんたくしゃ の しじ に したがって、さぎょう を おこない なさい。

shokuba de sadame rareta tadashii fukuso de hogogu mo chakuyo shi
(2) しょくば で さだめ られた ただしい ふくそう で、ほごぐ も ちやくよう し、

sagyo o okonai nasai
さぎょう を おこない なさい。

kega o shinai yoni ruru(rule) o mamori chui shite sagyo o okonai
(3) ケガ を しない ように、ルール を まもり、ちゅうい して さぎょう を おこない
nasai
なさい。

kibun ga warui taicho ga okashii to natta toki wa shiken
(4) きぶん が わるい、たいちょう が おかしい となった ときは、しけん
kantokusha ka shui no hito ni shirase nasai
かんたくしゃ か しゅうい の ひと に しらせ なさい。

seisaku to sagyo shiken

2. せいさく とう さぎょう しけん

kadai suejingu(swaging) daisu(dice) sentei to toritsuke

【かだい1】スウェーピング ダイス せんてい と とりつけ

hyojun jikan fun uchikiri jikan fun
<ひょうじゆん じかん:8ふん、うちきり じかん:12ふん>

shiken kantokusha kara shijisho o uketori shiji no naiyou no
しけん かんたくしゃ から しじしよ を うけとり、しじ の ないよう(内容) の
suejingu(swaging) daisu(dice) o erabi suejingu(swaging) kakouki e toritsukeru shiken
スウェーピングダイスを えらび、スウェーピング かこうき へ とりつける しけん
o okonai masu
を おこない ます。

sagyo tejun
《さぎょう てじゆん》

shiken kantokusha kara shijisho o uketori naiyou o kakunin shitara
① しけん かんたくしゃ から しじしよ を うけとり、ないよう を かくにん したら、

shiken kantokusha ni naiyou o kakunin shimashita sagyo kaishi
しけん かんたくしゃ に 「ないよう を かくにん しました。さぎょう かいし

dekimasu to tsutaeru
できます。」と つたえる。

shiken kantokusha kara sagyo kaishi no shiji ga detara hokan daisu(dice)
② しけん かんたくしゃ から さぎょう かいし の しじ が でたら、ほかん ダイス

shurui no naka kara gaito suru daisu(dice) no shurui o kataban
5しゅるい の なか から、がいとう する ダイス の しゅるい を かたばん

to de kakunin shi kakouki no yoko e ido suru
とう で かくにん し、かこうき の よこ へ いどう する。

daisu(dice) hyomen no henkei kizu no umu o kakunin suru
③ ダイス ひょうめんの へんけい・キズの うむ(有無) を かくにん する。

shiyo suru tameni eranda daisu(dice) o shiken kantokusha ni miseru
しよう する ために えらんだ ダイス を しけん かんとくしゃ に みせる。

shiken kantokusha ni korekara kono daisu(dice) o toritsuke masu to tsutaeru
④しけん かんとくしゃ に 「これから、この ダイス を とりつけ ます」と つたえる。

suejingu(swaging) daisu(dice) o kakoki ni toritsukeru
⑤スウェーピング ダイス を かこうき に とりつける。

kakoki o kido shi shiunten o okonau
⑥かこうき を きどう し、しうんてん を おこなう。

seisan ni utsureru jotai de aru koto o kakunin shitara ittan
⑦せいさん に うつれる じょうたい である こと を かくにん したら、いったん

setsubi o tome shiken kantokusha ni daisu(dice) toritsuke to kakoki no
せつび を とめ、しけん かんとくしゃ に ダイス とりつけ と かこうき の

shiunten ga shuryo shitakoto o tsutaeru
しうんてん が しゅうりょう した こと を つたえる。

kadai suejingu(swaging) kakoki no unten
【かだい2】スウェーピング かこうき の うんてん

hyojun jikan fun uchikiri jikan fun
<ひょうじゆん じかん:13ぶん、うちきり じかん:20ぶん>

suejingu(swaging) kakoki no unten no shiken o okonai masu
スウェーピング かこうき の うんてん の しけん を おこない ます。

sagyo tejun
《さぎょう てじゆん》

shiken kantokusha karano kako honsu to sagyo kaishi no shiji o
①しけん かんとくしゃ からの かこう ほんすう と さぎょう かいし の しじ を
kakunin shitara sagyo o kaishi suru
かくにん したら、さぎょう を かいし する。

zairyo no hokan basho kara shiji no zairyo o erabi kakoki
②ざいりょう の ほかん ばしょ から、しじ の ざいりょう を えらび、かこうき
yoko e ido suru
よこ へ いどう する。

paretto(palette) jo no zairyo no kakoki eno tonyu setsubi unten
③パレット じょう の ざいりょう の かこうき への とうにゆう、せつび うんてん
sosa kako zumi hin no toridashi to paretto(palette) zumi no sagyo o okonau
そうさ、かこう ずみ ひん の とりだし と パレット づみ の さぎょう を おこなう。

kono kan no sagyo no kimerareta tejun shiji ni sotto okonau
このかん(間) の さぎょう の、きめられた てじゆん・しじ に そって おこなう。

shiji sareta honsu no kako ga shuryo shitara shiken kantokusha
④しじ された ほんすう の かこう が しゅうりょう したら、しけん かんとくしゃ
ni suejingu(swaging) kako sagyo ga shuryo shita koto o tsutaeru
に スウェーピング かこう さぎょう が しゅうりょう した こと を つたえる。

kadai hikinuki daisu(dice) sentei to toritsuke
【かだい3】ひきぬき ダイス せんてい と とりつけ

hyojun jikan fun uchikiri jikan fun
<ひょうじゆん じかん:8ぶん、うちきり じかん:12ぶん>

shiken kantokusha kara shijisho o uketori shiji no naiyo no hikinuki
しけん かんたくしゃ から しじしょ を うけとり、しじ の ないよう(内容) の ひきぬき
daisu(dice) o erabi hikinuki kakoki e toritsukeru shiken o okonai masu
ダイスを えらび、ひきぬき かこうき へ とりつける しけん を おこない ます。

sagyo tejun
《さぎょう てじゆん》

shiken kantokusha kara shijisho o uketori naiyo o kakunin shitara
①しけん かんたくしゃ から しじしょ を うけとり、ないよう を かくにん したら、
shiken kantokusha ni naiyo o kakunin shimashita sagyo kaishi deki
しけん かんたくしゃ に「ないよう を かくにん しました。さぎょう かいし でき
masu to tsutaeru
ます。」と つたえる。

shijisho ga suejingu(swaging) kako to kyotsu no baai wa shoryaku
(しじしょ が スウェーピング かこう と きょうつう の ばあい は しょうりやく。)

shiken kantokusha kara sagyo kaishi no shiji ga detara hokan daisu(dice)
②しけん かんたくしゃ から さぎょう かいし の しじ が でしたら、ほかん ダイ
shurui no naka kara gaito suru daisu(dice) no shurui o kataban
5しゅるい の なか から、がいとう する ダイスの しゅるい を かたばん
to de kakunin shi kakouki no yoko e ido suru
とう で かくにん し、かこうき の よこ へ いどう する。

daisu(dice) hyomen no kizu mamou no umu o kakunin suru shiyo
③ダイス ひょうめんの キズ・まもう の うむ(有無) を かくにん する。しょう
suru tameni eranda daisu(dice) o shiken kantokusha ni miseru
する ために えらんだ ダイスを しけん かんたくしゃ に みせる。

shiken kantokusha ni korekara kono daisu(dice) o toritsuke masu to tsutaeru
④しけん かんたくしゃ に「これから、この ダイス を とりつけ ます」と つたえる。

hikinuki daisu(dice) o kakouki ni toritsukeru
⑤ひきぬき ダイス を かこうき に とりつける。

kakoki o kido shi shiunten o okonau
⑥かこうき を きどう し、しうんてん を おこなう。

seisan ni utsureru jotai de aru koto o kakunin shitara ittan
⑦せいさん に うつれる じょうたい である ことを かくにん したら、いったん
setsubi o tome shiken kantokusha ni daisu(dice) toritsuke to kakoki no
せつび を とめ、しけん かんたくしゃ に ダイス とりつけ と かこうき の
shiunten ga shuryo shitakoto o tsutaeru
しうんてん が しゅうりょう したことを つたえる。

kadai hikinuki kakouki no unten
【かだい4】ひきぬき かこうき の うんてん

hyojun jikan fun uchikiri jikan fun
<ひょうじゆん じかん:20ぷん、うちきり じかん:30ぷん>

hikinuki kakoki no unten no shiken o okonai masu
ひきぬき かこうき の うんてん の しけん を おこない ます。

sagyo tejun
《さぎょう てじゆん》

shiken kantokusha karano kako honsu to sagyo kaishi no shiji o
①しけん かんたくしゃ からの かこう ほんすう と さぎょう かいし の しじ を
kakunin shitara sagyo o kaishi suru
かくにん したら、さぎょう を かいし する。

zairyo no hokan basho kara shiji no zairyo o erabi kakoki
②ざいりょうのほかんばしょから、しじのざいりょうをえらび、かこうき
yoko e ido suru
よこへいどうする。

paretto(palette) jo no zairyo no kakoki eno tonyu setsubi unten
③パレットじょうのざいりょうのかこうきへのとうにゅう、せつびうんてん
sosa kako zumi hin no toridashi to paretto(palette) zumi no sagyo o okonau
そうさ、かこうずみひんのとりだしとパレットづみのさぎょうをおこなう。
kono kan no sagyo no kimerareta tejun shiji ni sotto okonau
このかん(間)のさぎょうの、きめられたてじゅん・しじにそっておこなう。

shiji sareta honsu no kako ga shuryo shitara shiken kantokusha
④しじされたほんすうのかこうがしゅうりょうしたら、しけんかんとくしゃ
ni hikinuki kako sagyo ga shuryo shita koto o tsutaeru
にひきぬきかこうさぎょうがしゅうりょうしたことをつたえる。

kadai seisan chu no hinsitsu kakunin
【かだい5】せいさんちゅうのひんしつかくにん

hyojun jikan fun uchikiri jikan fun
〈ひょうじゅんじかん:8ふん、うちきりじかん:12ふん〉

geji(gauge) to hikinuki kakohin no sumpo sokutei gaikan hinshitsu
ゲージとひきぬきかこうひんのすんぽうそくてい、がいかんひんしつ
kakunin no shiken o okonai masu
かくにんのしけんをおこないます。

sagyo tejun
《さぎょうてじゅん》

shiken kantokusha kara sokutei seido no kakunin no tame geji(gauge)
①しけんかんとくしゃからそくていせいどのかくにんのため、ゲージ
o uketoru sonotoki ni sokutei suru bubun no shiji o ukeru
をうけとる。そのときに、そくていするぶぶんのしじをうける。
doji ni sokutei kekka no kiroku yoshi o uketoru
どうじに、そくていけっかの、きろくようしを、うけとる。

sokuteiki o tsukai geji(gauge) o sokutei shi kekka o kiroku yoshi ni
②そくていきをつかいゲージをそくていし、けっかをきろくようしに
kinyu shi shiken kantokusha ni kiroku yoshi o watasu
きにゅうし、しけんかんとくしゃにきろくようしをわたす。

shiken kantokusha kara kakohin no shijisho no naiyo o misete
③しけんかんとくしゃから、「かこうひんのしじしょのないようをみせて
hoshii tonou youkyu ga attara shijisho o shiken kantokusha ni
ほしい」とのようきゅうがあつたら、しじしょをしけんかんとくしゃに
watasu mata shitsumon ga areba kotaeru
わたす。また、しつもんがあればこたえる。

shiken kantokusha kara hikinuki kakohin no sumpo sokutei to
④しけんかんとくしゃから、ひきぬきかこうひんのすんぽうそくていと
gaikan kakunin no shiji o uke sorezore no sagyo o okonau
がいかんかくにんのしじをうけ、それぞれのさぎょうをおこなう。
sokutei kekka gaikan no kakunin kekka o kiroku yoshi ni kiroku suru
そくていけっか、がいかんのかくにんけっかをきろくようしにきろくする。

kiroku made shuryo shitara kiroku naiyo o shiken kantokusha ni
⑤きろく まで しゅうりょう したら、きろく ないよう を しけん かんとくしゃ に
setsumeï suru shitsumon saretara kotaeru
せつめい する。しつもん されたら、こたえる。

kadai sumpo sokutei kekka furyo jisseki setsubi kado jisseki no kiroku
【かだい6】すんぽう そくてい けっか、ふりょう じっせき、せつび かどう じっせき の きろく
hyojun jikan fun uchikiri jikan fun
〈ひょうじゆん じかん:6ふん、うちきり じかん:10ふん〉

sumpo sokutei kekka furyo jisseki setsubi kado jisseki no kiroku
すんぽう そくてい けっか、ふりょう じっせき、せつび かどう じっせき の きろく
no shiken o okonai masu
の しけん を おこない ます。

tadashi sumpou sokutei kekka no kiroku ni tsuite wa kadai de
(ただし、すんぽう そくてい けっか の きろく については、かだい5 で
okonatte irunode shoryaku suru
おこなって いるので しょうりやく する。)

sagyō tejun
《さぎょう てじゆん》

shiken kantokusha kara kiroku yoshi ga watarareru node sore o uketoru
①しけん かんとくしゃ から きろく ようし が わたされる ので それ を うけとる。

kiroku yoshi niwa furyo no jisseki setsubi kadou no jisseki ga
②きろく ようし には、「ふりょう の じっせき」「せつび かどう の じっせき」が
kakarete iru shiken kantokusha no shiji ni sotto furyoritsu setsubi
かかれています。しけん かんとくしゃ の しじ に そって ふりょうりつ、せつび
kadoritsu o keisan shi yoshi ni kinyu suru
かどうりつ を けいさん し、ようし に きにゆう する。

shiken kantokusha ni kinyu ga sunda koto o tsutae kiroku yoshi o
③しけん かんとくしゃ に きにゆう が すんだ こと を つたえ、きろく ようし を
watsu keisan shita kekka o setsumeï suru shitsumon saretara
わたす。けいさん した けっか を せつめい する。しつもん されたら、
kotaeru
こたえる。